

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	569 行政バス運行経費	会計	01	一般会計
基本	51 市内交通機関の利便性を高める	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
1	バス利便性向上	目	06	企画費
		細目	105	地域振興経費
	細々目	01		行政バス運行経費
基本計画該当頁		180		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 550100	評価者	高島 幸生	連絡先 45 - 9111 (内線) 230
	名称 伊賀支所総務振興課	氏名		

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
交通空白地帯における市民 (※対象件数)	通学、通院、通勤等に移動手段を確保する。
根拠法令・要綱等	
開始年度 平成 14 年度	関連事業
終了年度 平成 年度	
事業内容	状況変化等
柘植、西柘植線・西柘植、壬生野線・希望ヶ丘線の3路線で、1日18便運行している。直営方式で、29人乗りバス2台、日・祭日・年末年始を除き毎日運行している。	三重交通バスが平成19年10月から伊賀支所止めとなりました。従来の伊賀支所からのルートに柘植駅の停留所を加えた。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
運行便数	便	目標 5,292 実績 5,292	目標 5,292 実績 5,292	5,292	5,292
ルート等についてまちづくり協議会と協議	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
ルート等について運転手と協議	回	目標 1 実績 1	目標 2 実績 2	2	2

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
収支率	運賃維持可能な収支であるか	%	目標 17.2 実績 10.5	目標 35.6 実績 16.5	17.5	12.2
年間利用者数	需要があるか	人	目標 30,200 実績 27,556	目標 25,000 実績 22,794	23,000	23,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	公共交通機関の空白地域における交通弱者等に対し移動手段を確保することは、生活する上で必要であるが、民間事業所のサービスだけでは確保ができないため、市が補完する必要がある。柘植まちづくり協議会より三重交通バス、伊賀支所、出発・到着時間に行政バスが余裕5分前に到着できる要時間要望が出ている。悪天候、通勤時、出発時間に遅れることがある。
有効性	3	移動手段の確保ができていているという点では有効性は高いと考えるが児童生徒の減少により利用者は減少している。
達成度	3	地域住民代表の方々と運転手を交えて協議を重ねて現行の時間ルートを設定している。三重交通バスセンターからの伊賀支所、出発、到着時間に間に合う運行時間ルート停留所の数を見直す必要がある
効率性	4	昨年10月1日より運賃を子供100円中学生以上200円に値上げすることにより採算性の好転をはかる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	朝夕の通勤、通学時を除き昼間の乗車時間調査を行い運行時間ルートの変更等の検討をする必要がある。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額															
委託	事業内容	運転手報酬等	5	8,110	運転手報酬等	5	7,991	運転手報酬等	5	7,972	運転手報酬等	5	8,200	運転手報酬等	5	8,200	運転手報酬等	5	8,200
燃料費等		2	3,156	燃料費等	2	3,034	燃料費等	2	3,319	燃料費等	2	3,200	燃料費等	2	3,200	燃料費等	2	3,200	
バス購入費		1	3,672					バス購入費	1	4,200							バス購入費	1	4,200
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	14,938	事業費計(A)	Σ	11,025	事業費計(A)	Σ	11,291	事業費計(A)	Σ	15,600	事業費計(A)	Σ	11,400	事業費計(A)	Σ	11,400
事業投入人員		人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.5	人 3,600	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040
フルコスト(A)+(B)				19,978			16,065			16,331			19,200			16,440			16,440

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	14,938	11,025	11,291	15,600	11,400	11,400
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	5,256	2,538	4,089	2,600	2,600
	地方債	4,000			4,200	
	受益者負担					
	その他	1,566	1,822	3,700	1,900	1,800
	一般財源	4,116	6,665	3,502	6,900	7,000
	計	14,938	11,025	11,291	15,600	11,400
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	その他 行政サービス巡回車使用料 地方債 地域振興事業	その他 行政サービス巡回車使用料 地域振興基金繰入金 1,000	その他 行政サービス巡回車使用料 3,700	その他 行政サービス巡回車使用料 1,900	その他 行政サービス巡回車使用料 1,800